

実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

記入日	2019 年 1 月 27 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科
代表者名	中村 俊介
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	言葉に頼らない避難誘導ツール開発プロジェクト
電話番号	086-462-1111
メールアドレス	s-nakamura@mw.kawasaki-m.ac.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科は、医療福祉分野においてデザインのスキルと医療福祉の知識を活用して、主体的に問題解決ができる人材を育成している学科。 岡山県内の消防署から相談を受けたことをきっかけに、学生有志メンバーによるチームを結成し、2016 年より災害時避難誘導用ピクトグラムを共同で開発してきた。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	(代表) 助教：中村 俊介 (担当) 講師：岩藤 百香 (アドバイザー) 教授：青木 陸祐 (活動メンバー) 大学 3 年生 4 名、2 年生 3 名 協力：岡山市消防局 岡山市北消防署
活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください。活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	岡山県
活動開始時期・結成時期	2016 年
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴(チャレンジプラン以外も含む)をご記入ください	【2016 年】 8 月 消防署より相談を受け、プロジェクトがスタート 11 月 学生によるピクトグラムのデザインに関するプレゼンテーションを実施 【2017 年】



	2 月 消防訓練にて検証 10 月 ピクトグラムの改善および消防訓練にて再検証 【受賞】 ・消防庁 消防研究センター 消防防災科学技術賞 優秀賞 (2017 年)
プラン全体の概要	NBC 災害の際に、防護服を着た隊員が言葉に頼らず避難誘導を行うためのツール開発と、実際に現場での使用に耐えるデザインモデルの作製・検証を消防署と共同で行う。その過程で大学生が防災に対しての知識を得ること、多職種連携による防災活動の意義を知ることを目的としている。 2016 年、岡山市消防局 岡山市北消防署の隊員から「火事の現場で聴覚障がいを持つ方に、避難して欲しい事がすぐに伝わらなかった」と相談を受けたことから、災害時避難誘導用ピクトグラムの開発がスタート。ピクトグラムは 2020 年のオリンピックに向け、外国人や障がいを持つ方にも伝わりやすく有効な避難誘導のアイデアと考えている。開発にあたっては、定期的な打合せを行い、これまでに 4 度の消防訓練に参加して検証を行った。また、全国 22 の消防署からピクトグラムの使用に関する希望が寄せられており、さらなる検証の場が広がっている。



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	ピクトグラムのデザイン検証	学生メンバー募集	旧モデルについて改善プランの策定
5月	同上		勉強会の実施 (ISO・JIS)
6月	同上		
7月	実用モデルについての考察		機能面で必要な要件を検討
8月	消防士との打合せ	打合せ資料の作成	
9月	検証モデル制作スタート		
10月	・学内検証 ・入稿データ作成	原寸紙モデルの制作、検証準備	・学内にて検証を実施 ・外注業者の選定、発注
11月	消防訓練にて検証		埼玉、岡山の消防訓練に参加
12月	アンケート内容作成		
1月	・アンケート調査、集計 ・最終発表用データ作成		消防出初式にてアンケートを実施
2月	最終報告会	展示パネルの制作	
3月	他学生に向けて報告会		学生による報告会を実施し、成果をまとめる

プラン全体の反省点・課題・感想	授業外での取組であるため、学生のモチベーション維持が重要であったが、社会に役立つツール開発に関わっているという自負が学生に生まれ、学年縦断のチームが上手くまとまり、活動することができた。
今後の活動予定	言葉づかいや見え方に新たな課題が見つかったため、さらなるデザインの改善を行いたい。また、外国人に対する情報伝達および夜間の視認性に対する検証も必要だと考えている。さらに、今回制作したモデルを各地の消防局へ送り、消防隊員によるテスト使用および評価を行い普及に努めていきたい。



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

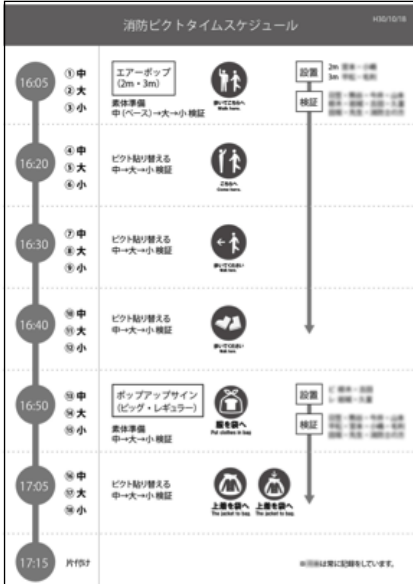
「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	2018 年 10 月 18 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	13
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	ピクトグラムの視認性・表示サイズと媒体の大きさに関する検証
実践担当者のお名前	中村 俊介

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	円 5 万円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数週間
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	2018 年 10 月 18 日 16 時 00 分～18 時 30 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	2.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	10 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	大学生
防災教育の対象者の人数	約 10 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県倉敷市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	川崎医療福祉大学 (倉敷市松島 288)
★実践に必要なだった特定の能力を	想定しているモデルの原寸サイズに印刷したピクトグラム



持った人・物品・ツール・知識等	
-----------------	--

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	想定しているモデルの原寸サイズを印刷し、屋外にて ①ピクトグラム の視認性 ②媒体の大きさ の2点を確認するため検証を行う。また消防 隊員の方やプロジェクトに携わっていない学生にも参加してもらい、 様々な知見を得てブラッシュアップを行い、外注業者へ発注する。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	【検証条件】屋外で 30m 離れた場所から見る - 限られた時間での検証になるため、当日のタイムスケジュールとチェックリストを作成し、円滑に運営していけるよう心がけた。   ↑ 当日使用したタイムスケジュール(左)とチェックリスト(右) - 学生個々の得意分野を活かし、ピクトグラム制作班と検証準備班の2組に分け準備作業を進めた。  	



↑準備作業の様子



- ・検証当日はより多くの意見を得るため、消防隊員の方とプロジェクトに参加していない学生たちにも参加を要請した。



↑当日の様子

- ・屋外での検証後、プロジェクトチームで検証の振り返りを行い今後の進行の確認と方向性についてディスカッションを行った。





得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	・実際の現場を想定した屋外での検証により、ピクトグラムのデザイン面での視認性と表示サイズ、また媒体の大きさを確認し決定した。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	かなり
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	・授業後での検証だったため、すぐに検証に動けるよう前日までに準備を確実に行った。 ・検証に関わる人数と検証事項が多かったため、細かく設定したタイムスケジュールを事前に用意しておいて正解だった。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	岡山市消防局 岡山市北消防署
関係者の説明	2016年より災害時避難誘導用ピクトグラムを共同で開発をしている。
関係者の連絡先	TEL. 086-226-1119

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	指導教員
伝えたい内容	学生個々の「得意なこと」を見極め、それぞれに合った役割を与えることの重要性を感じました。各グループで活動させることで責任感が芽生え、1つのグループに集まった際にはより強い団結力が生まれたように思います。



記入日	2018 年 11 月 27 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	13
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	岡山市 NBC 災害対応訓練での検証
実践担当者のお名前	中村 俊介

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	円 10 万円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	2018 年 11 月 27 日 9 時 30 分～12 時 00 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	2.5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	13 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	大学生
防災教育の対象者の人数	約 7 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県岡山市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	岡山市消防教育訓練センター (岡山市中区桑野 116-3)
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	外注製作をしたデザインモデル



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	NBC 災害が起きた際の一連の避難誘導の流れを確認し、訓練を体験する。制作したピクトグラムが災害現場ではどのように機能するのか、また視認性はきちんと保たれるのかを確認する。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	かなり
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	学びに向かう力・人間性	大いに
	・外注業者へ発注する前に、時間をかけて細部までデザインを詰め、文字情報の部分についてもフォントをいくつも試し、何度も原寸サイズでチェックを行った。 ↑ 最終調整の様子 ・検証当日は通常行われている訓練の流れの中に、今回製作したデザインモデルも道具の一つとして消防車へ積み込んでいただき、避難誘導の際の導入から撤収までの一連の動きを見させていただいた。	



	・ 隊員の動きを一つずつ教えていただきながら検証を進めていった。    	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	本番さながらの訓練を体験し、自分たちがこれまで取組んできたデザインが実際に機能を果たしている現場を間近で見ることができた。そのことにより、社会に役立つツール開発に関わっているという自負が学生に生まれた。	
どのくらい身につきましたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	・ 授業との兼合いもあり学生全員の参加が叶わなかった。 ・ 少ない人数での役割分担（メモ係、記録・撮影係など）を明確にしておく必要があった。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	岡山市消防局 岡山市北消防署
関係者の説明	2016 年より災害時避難誘導用ピクトグラムを共同で開発している。
関係者の連絡先	TEL. 086-226-1119



★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	指導教員
伝えたい内容	五感を使って学生自ら体験することがなによりの学修だと思いました。訓練に参加したことで、学生の顔つきや取組む姿勢が明らかに変化しました。訓練に参加できる機会があればどんどん現場に連れ出すことをお勧めします。



記入日	2019 年 1 月 13 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	13
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	消防イベントでのアンケート調査
実践担当者のお名前	中村 俊介

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	円 1 万円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	2019 年 1 月 13 日 9 時 00 分～12 時 00 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	3 時間
実践の運営側で動いた人の人数	10 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	大学生
防災教育の対象者の人数	約 4 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県岡山市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	六番川水の公園 (岡山市東区升田 614-64)
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	今回の活動で作製したデザインモデル一式



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	今回制作したピクトグラムに関して、出初式にて一般の方を対象にアンケート調査を行い、幅広い年齢層の方々から直接ご意見をいただく。 アンケートの内容については以下の3点。 ①ピクトグラムの意味をすぐに正しく理解できるか ②色による情報伝達の正確性について ③視認性について	
どの力を身につけようとしたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</u>	知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性	かなり かなり 大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	・こちらが聞きたい内容を短時間で答えていただけるよう質問内容を絞り、また読みやすい紙面になるよう文字や図の大きさを工夫した。   ↑当日配布したアンケート用紙（2枚組/150名分を用意） ・当日はイベント会場の一角にブースを設置させていただき、学生が会場内を周回し声掛けを行いながらアンケートを実施した。  	



↑当日の様子

- ・ 出初式に来場していたお客さんを対象に、コミュニケーションをはかりながらアンケートを実施していった。短い時間ではあったが、126名分のデータを集めることができた。

得られた成果

どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください

- ・ 旧型のピクトグラムよりも、今回制作したものの方がより意味が理解できることがわかった。
- ・ 黄色を使うことによって危険性と行動の必要性を感じやすくなる。
- ・ エアポップ型とポップアップ型の媒体は高さがあり、遠くからでも視認性が高かった。

どのくらい身につきましたか？

該当しないものを削除し該当するものを残す

知識・技能	大いに
思考力・判断力・表現力	かなり
学びに向かう力・人間性	大いに

課題・苦労・工夫

やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください

- ・ ブース展示をしたことで、自分たちが取組んだことを一般の方にプレゼンテーションできる絶好の機会となった。
- ・ はじめはアンケートをお願いする声掛けがなかなか上手くいかない学生もいたが、周りがフォローをするなどチームワークが徐々に実を結び、その結果多くのデータを集めることができた。



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	岡山市消防局 岡山市北消防署
関係者の説明	2016 年より災害時避難誘導用ピクトグラムを共同で開発している。
関係者の連絡先	TEL. 086-226-1119

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	指導教員
伝えたい内容	専門家だけではなく、一般の方の意見を聞く機会を設けることでより多様な視点が生まれ、内容がぐっと深くなると思います。